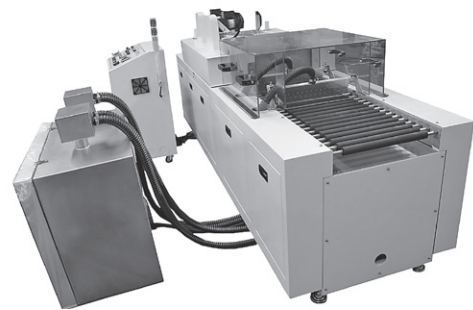
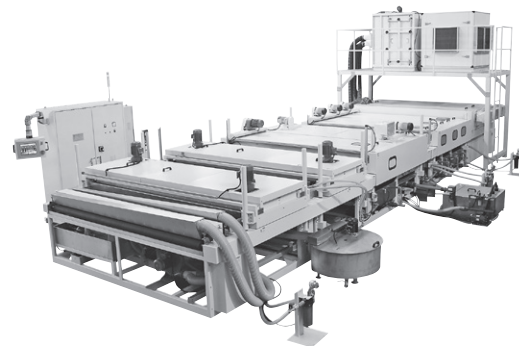
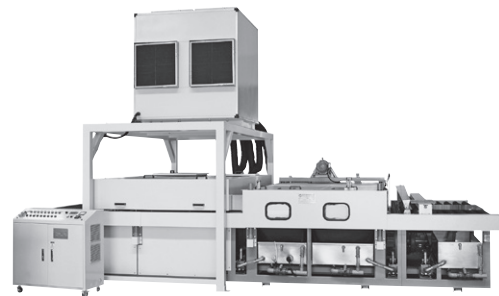




産業用の実績も豊富

洗浄機、カスタマイズ対応

TGM(東京都十代田区、弘中崇社長、03・6261・1260)は、台湾・LCM(LI-CHUANG MACHINERY)社のガラス洗浄機を販売している。欧州メーカーの洗浄機では難しい、客の要望に合わせたサイズ、安全機能などのカスタマイズができる。エアナイフ、ディスク、スポンジなどさまざまなタイプがあり、建築用だけでなく産業用、厚さ0・5ミリの薄物ガラスにも対応する。産業用ではガラス表面に傷が付くのを予防するため、ガラス搬送ローラーを円すい形状にして特殊素材を使用するなど、これまでの実績で蓄積された豊富な知見で、客の用途に最適な洗浄機を提案する。

欧州メーカーの洗浄機の場合、サイズのラインアップが特定の数種しかないため、日本では工場スペースの関係で、既製品では工場の中に入らないこともあった。LC

M社の洗浄機は、工場スペースに合わせて設備のサイズをカスタマイズすることが可能で、日本でも評価が高い。近年、ガラスの加工品質に対する要求が高まっ

ており、同社にもガラス欠点検査システムの引き合いが増えているという。高い精度でガラスの欠点を検出するためにもガラスの洗浄、乾燥が重

要で、洗浄機には高い洗浄性能、乾燥性能が求められている。LCM社の洗浄機は洗浄性能を上げるためのブラシの数の追加、乾燥性能を上げるためのエアナイフの数の追加、安全機能のカスタマ

イズなどに対応する。エアナイフ、ディスク、スポンジなどさまざまなタイプがある。建築用だけでなく産業用に対応した設備もあり、厚さ0・5ミリの薄物ガラスの洗浄機も製造できる。洗浄能力が高いディスクタイプは納入実績が多い。LCM社は1982年創業で、ガラス業界で36年の実績がある。台湾での社名は金吉利機械。認知度向上のため、2017年から海外ではLCMの社名を使用している。台湾で製造し、国内向け60%、海外向け40%の割合で販売する。海外にも多数の納入実績があり、600台以上を販売。TGMが日本での総代理店を務める。

